

道なき道の歩き方 女性学は何をめざすか？

上野千鶴子

認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)

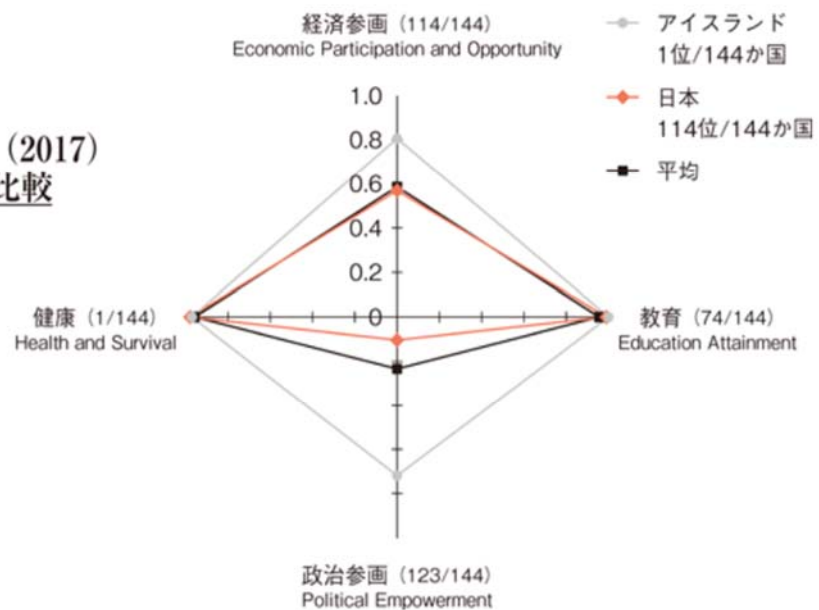
理事長

日本女性の地位 また下がった国際ランキング

- GGI (Gender Gap Index) 政治・経済・教育・健康の4分野での男女平等指数
- 2012年 98位
- 2013年 101位
- 2014年 105位
- 2015年 104位
- 2016年 111位
- 2017年 114位
- 2018年 110位／149カ国
- 2019年 121位／153カ国

理由は政治参加と経済格差

ジェンダー・ギャップ指数 (2017)
各分野の日本の順位と比較



それはウーマン・リブから 始まった...

- 1970 ウーマン・リブの誕生
- 1975 国連女性の10年
- **1977 日本女性学研究会誕生**
- 1978 国際女性学会
- 1978 女性学研究会
- 1978 日本女性学会

→ウーマン・リブが、学問の世界へ殴り込みをかけた！？

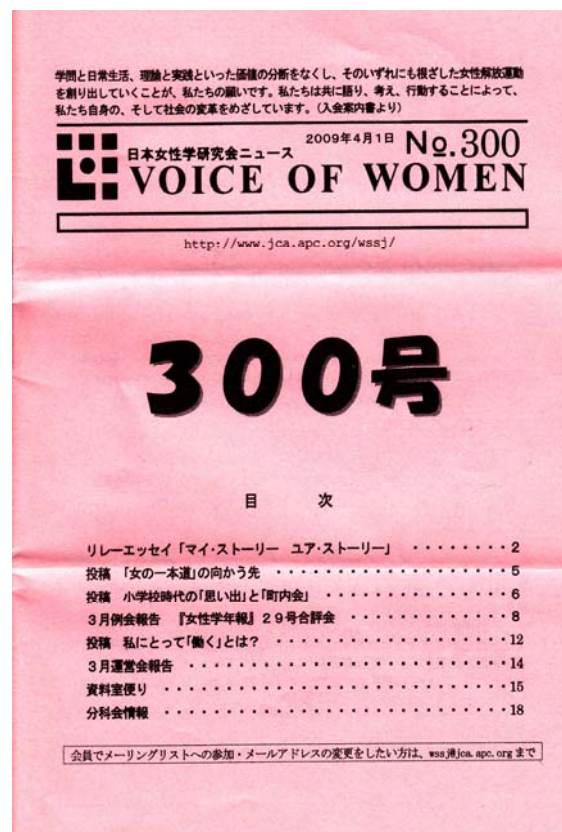
それは
ウーマンリブから
始まった

1970.10.21国際反戦デー
おんな解放学生戦線
(『資料日本ウーマンリブ史』1
より)



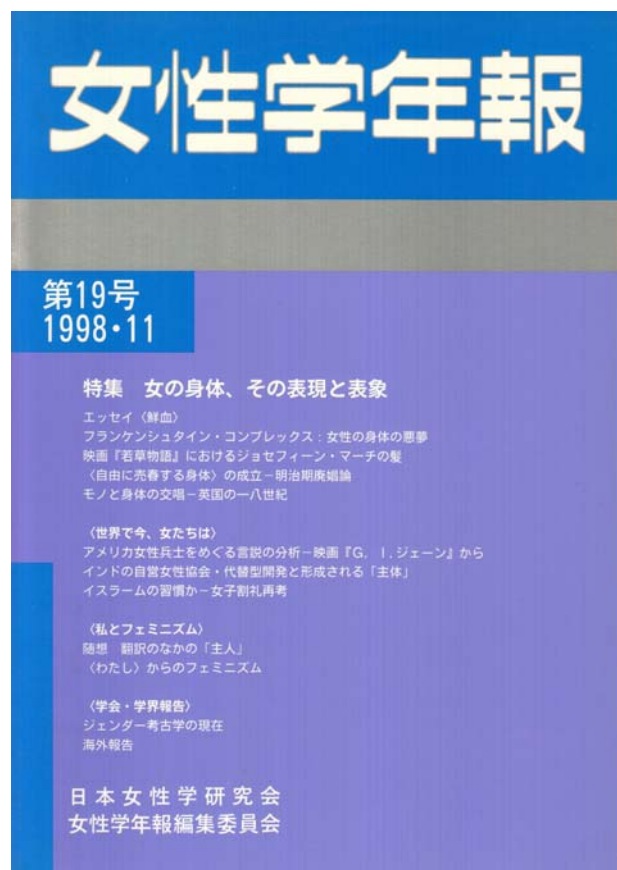
女性学はアカデミアの外で民間学として始まった

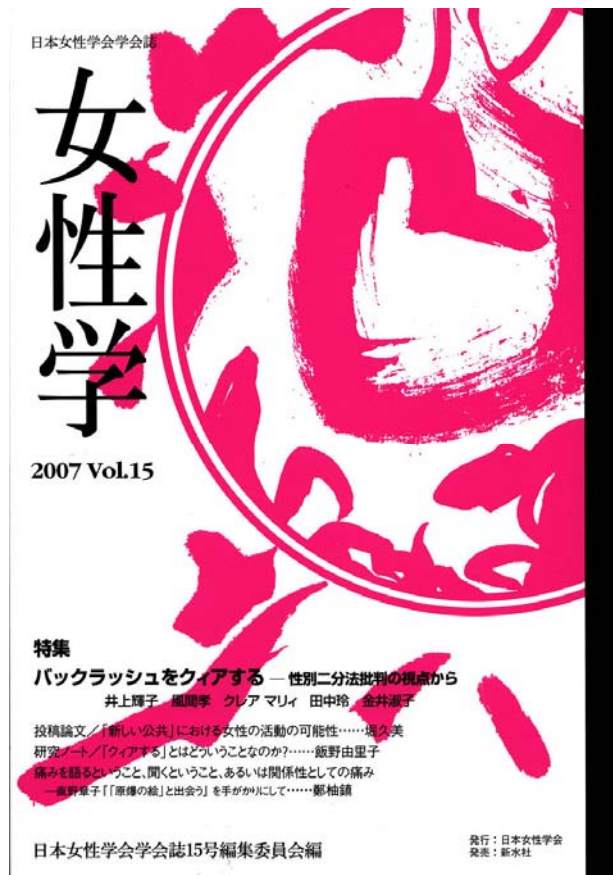
1977国際女性学会
日本女性学研究会
1978女性学研究会
1979日本女性学会



1980年創刊
2016年 37号(終刊号)

2017.12.9
日本女性学研究会40周年記念集会
大阪ドーンセンター





女性学の定義

- 女の・女による・女のための学問研究(井上輝子)
- Of women, By women, For women,
リンカーンによる民主主義(人民の政治)の定義のパロディ
人民のof people
人民によるby people
人民のためのfor people 政治

新しい研究課題

- ・家族・日常生活
- ・女の家事・育児・介護=「不払い労働」
- ・身体・セクシュアリティ
- ・少女マンガ、やおい、BL、ファッション、化粧、下着、生理用品・・・

つまり男性が関心を払わず、学問のうえで価値がないと思われてきたことのすべて。

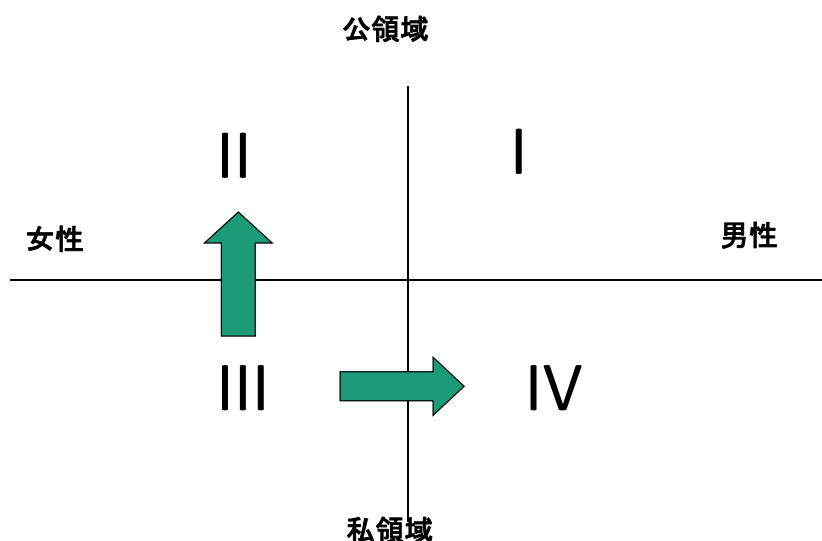
男性学はあるか？

- YES!
- ・ 男性学の定義：女性学を通過したあとの、男性の自己省察の学問研究
- ・ 「男らしさ」ってなに？
- ・ どうして強姦できるの？
- ・ どうしてAVで「ヌケル」の？
- ・ 「男になる」ってつらくない？
- ・ 「女(男)は女(男)に生まれるのではない、女(男)につくられるのだ」Simone de Beauvoir

ジェンダー研究の成立

- 女性学、男性学からジェンダー研究へ
- ジェンダー=性別・性的差異化
- ジェンダーは二つではなくひとつの実践
- そしてセクシュアリティ研究へ
- ジェンダー≠セックス
- セクシュアリティ≠セックス
- 「セックスは両脚のあいだに、セクシュアリティは両耳のあいだにある」

ジェンダー研究の展開



学問の中立性・客観性の神話

- 当事者性=偏向・主観的か？
- 希望的観測≠客観的判断(敵を知るには正確な情報が必要)
- 立場性positionalityと多元的現実multiple reality
- 当事者性=問題から逃れることができない人々
- 距離を置く=問題と人との切り離し BUT第三者性ではない！



当事者とは誰か？

- 「当事者能力」をもっとも奪われてきた人たち
- 「わたしが誰か」を他人に決められてきた人たち
- 女性、子ども、高齢者、障害者
- 当事者運動

→社会的弱者の自己定義権の要求

当事者研究とは何か？

- 「わたしのことはわたしがいちばんよく知っている。
だからわたしに聞いてよ」
- 障害学
- 患者学・がん患者学
- 女性学
- 不登校学
- 発達障害
- 統合失調症・認知症の患者さんの「当事者研究」
- 専門家が耳を傾けるようになった！

べてるの家の当事者研究

- 「キレ方の研究」
 - 「わたしはなぜさびしいか？」
 - 「摂食障害のスキル」
 - G&M(幻覚&妄想)大会 優勝者にグランプリ
- べてるの家『べてるの家の非援助論』医学書院
べてるの家『べてるの家の当事者研究』医学書院

経験を言語化する

- かけがえのない自分の経験を
- なかまとささえあって
- 他人に伝えることばで
- 根拠を示し、すじみちを立てて
- ことばにする＝伝える・伝える
- 学問＝「伝達可能な知の共有財」
- 「自分自身で、共に」

ケアする性の当事者研究 =女性学

『臨床心理学』増刊9号
2017.7 金剛出版

上野千鶴子「当事者研究としての女性学」



定義の政治＝フェミニズムの達成 Personal is political.

- ・「性的からかい」「いたずら」→「セクハラ」
- ・「痴話げんか」→DV(夫や恋人からの暴力)
- ・「痴漢は犯罪です」
- ・「つきまとい」→「ストーカー」(復縁殺人)

経験の再定義 「あのときのあれは・・・」

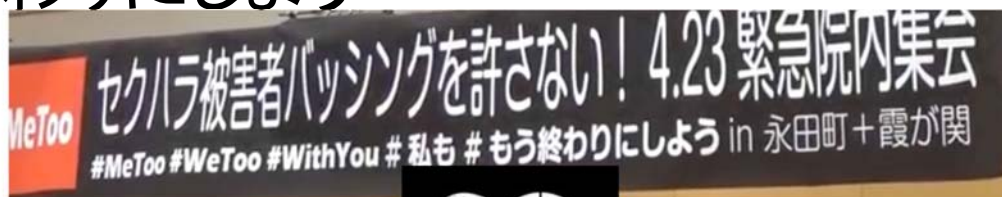
セクハラの見

- 1980年代「働くことと生きることを考える三多摩女性の会」
- フェミニストのアクション・リサーチ
- 女性の経験の言語化・理論化＝経験の再定義

セクハラの出

- 1989流行語大賞「セクシュアル・ハラスメント」
- 「性的からかい」「職場の潤滑油」から「セクハラ」へ
- 1989 日本初の「セクハラ」訴訟
- セクハラは高くつく？

#MeToo #WeToo #WithYou #もう終わりにしよう



(WANサイトで動画配信中)



「これは僕らの問題です」
#私は黙らない0428@新宿アルタ前



新聞労連全国女性集会0421

- 「取材先からキスを強要された」
- 「セクハラは業務の一環」
- 「我慢し黙認してきたことが最悪の結果を生んだ」
- 「女性記者の生の声に、改めてショックを受けた。マスコミも男性中心の組織文化を変えるときだ」(小林基秀中央執行委員長)
- →ジャーナリストが当事者になった！
- ←メディアの女性労働者が増えた！！

日本のDV調査

- 1992「夫(&恋人)からの暴力」調査研究委員会(=フェミニスト・アクション・リサーチ)
- DV経験率 59%
- 1995国連『世界の女性 実態と統計』
ケニア42＞メキシコ34＞**日本59**＞エクアドル(低所得層)60%
- 2005内閣府男女共同参画局調査
カナダ25＞**日本26.7**＞アメリカ28%

DVってなあに？ Domestic Violence

- 夫・恋人からの暴力(=有無を言わさず相手を従える力／支配・服従関係)
- DVの3つの種類
 - 1) 身体的暴力(性的暴力を含む)
 - 2) 経済的暴力
 - 3) 精神的暴力(ことばの暴力)
- 相手の自己評価を下げる効果／無力化

DV男はなぜ妻(恋人)を殴るか？

- なぜなら「妻(恋人)だから」
- 自分に所属している／殴ってもかまわない／殴っても逃げない／安心して殴れる相手だから・・・
- 自分の一部だから／自分の所有物だから／相手の自我を認めていないから

セクハラ・アカハラ・DVの謎？

- NOを言わない／言えない相手を選ぶ
- 逃げない／逃げられない相手を選ぶ
- 周到で巧妙、卑劣な加害者
- 「状況の定義」の加害者／被害者間の圧倒的な非対称性！
- 権力=「状況の定義」権

性暴力

- ・定義=意に反する性的行為の強制
- ・夫婦間に強姦は成りたつか？
- ・避妊への協力の有無
- ・「避妊なき性交」=性暴力？
- ・「のぞまない妊娠」=性犯罪(強制妊娠罪)に！
- ・男はどんなとき、「避妊なき性交」をするか？日本には性暴力禁止法はない！

性暴力

- 被害者なき(不在の)犯罪
- 加害者の免責＝男性性欲神話
- 被害者の烙印stigmatization→沈黙



経験の再定義

- 「被害者の恥」から「加害者の罪」へ
- 被害者の免責＝「あなたは悪くない」
- 性暴力をめぐるパラダイムシフトが先行
- 権仁淑による性拷問告発
- 尹貞玉による「慰安婦」名乗りの呼びかけ

上野千鶴子・蘭信三・平井和子編『戦争と性暴力の比較史へ向けて』岩波書店、2018年

プログラム

総合司会
蘭信三・佐藤文香
13:00 編者代表挨拶
上野千鶴子

13:10 第1部 コメント
『戦争と性暴力の比較史へ向けて』をどう読むか？
川喜田敦子(中央大学)
中村理香(成城大学)
桜井 厚(日本ライフストーリー研究所)
岡野八代(同志社大学)
岩崎 稔(東京外国語大学)
14:50 <休憩>
15:30 第2部 リプライ
16:20 第3部 総合討論

17:50 編者閉会挨拶
平井和子
18:30～20:00 懇親会



コメンテーター・プロフィール

川喜田敦子: ドイツ現代史、『ドイツの歴史教育』(白水社、2005年)
中村理香: アジア系アメリカ文学・文化／ジェンダー論／ポストコロニアル主義理論、『アジア系アメリカと戦争記憶—原爆・「慰安婦」・強制収容』(青弓社、2017年)
桜井 厚: 社会学・ライフストーリー／ライフストーリー研究・社会問題等、『境界文化のライフストーリー』(せりか書房、2005年)
岡野八代: 政治思想史／フェミニズム理論、『フェミニズムの政治学—ケアの倫理をグローバル社会へ』(みすず書房、2012年)
岩崎 稔: 哲学/政治思想、『「慰安婦」問題が照らす日本の戦後』『岩波講座アジア太平洋戦争 記憶と認識の中のアジア・太平洋戦争』(岩波書店、2015年、長志珠絵との共著)

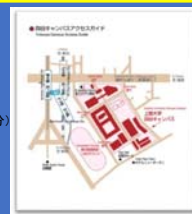
日時: 2018年5月13日(日) 13:00～18:00

会場: 上智大学四谷キャンパス 2号館 401教室
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

(JR 中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線・四ツ谷駅麹町口・赤坂口から徒歩5分)

事前予約不要・資料代 1000円

主催: 『戦争と性暴力の比較史へ向けて』刊行記念シンポジウム実行委員会
連絡先: kaken25245060@gmail.com



ノーベル平和賞2018 「戦争兵器」としての強姦



Denis Mukwege
(婦人科医・コンゴ)



Nadia Murad
(IS性暴力被害者・イラク)

戦時性暴力のパラダイム転換paradigm shift

- 「戦争兵器military weapon」としてのレイプ@ルワンダ国際戦犯法廷
- 黙認から承認、組織化まで(偶発的ではない)
- 戦時性奴隷制Rape camp in Bosnia-Herzegovina
- 兵士の「性欲」神話→権力の濫用abuse of powerとホモソーシャルな連帯の確認homosocial bond
- 敵の男性性への打撃
- 家父長制=所有物としての女性

日本兵のふるまい(使い分け)

- 笠原十九司1999『南京事件と三光作戦』
- 治安地区 慰安所設置
- 準治安地区
- 非治安地区 強姦多発
- 兵士はやってもよいと思うことをやってもよいところで理性的におこなった
- 同じ兵士が慰安所にも行き、強姦もやった
- 慰安所は強姦防止の役に立たなかった
- 岡田泰平「日本軍慰安婦制度と性暴力:強制性と合法性をめぐる葛藤」(本書)

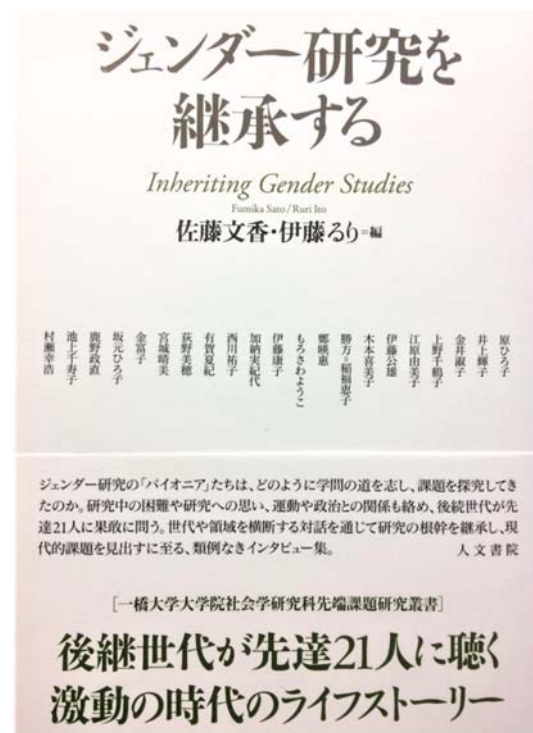
経験の再定義

- 「不払い労働」の発見
- 1) 家事は労働だ
- 2) しかも不当に支払われない不払い労働だ
- 家事労働の定義＝第3者基準
- Unpaid workの訳語＝無償労働／無報酬労働／無収入労働／不払い労働
- 家事労働の値段？ 276万円／年
- 家事はおカネで測れない神聖な愛の行為？
- 妻は家庭の経営者で大蔵大臣？

フェミニズムをとりまく環境

- リブ世代の高齢化→世代交代の要請
- メディア環境の変化 プリントメディアからICTメディアへ
- バックラッシュと行革による逆風
- 女性の分断と女女格差
- 国策フェミニズム(「男女共同参画」)による領有

佐藤文香・伊藤るり編
『ジェンダー研究を継承する』
人文書院、2017年



フェミニズムの世代間継承を求めて



松井久子監督作品2014年
DVD & 書籍



ミニコミアークाइブを デッドストックから ライブフローにする

シリーズ・ミニコミに学ぶ①『銃後史ノート』

こうして戦争は始まる
一孫世代が出会う
「銃後の女たち」

「過去の経験を生かす」ことは可能なのか？
「私たちの現在を問う会」編著による『銃後史ノート』(戦前編)を取りあげ、当時を生きた人々だけでなく戦争を知らない幅広い世代の人々と一緒に、日本がどのように戦争に突き進んだか、女性が任された「銃後」とは何だったのかを振り返り、現在と何が似ているのか、何が違うのかを考えます。

話者：
「女性の戦争協力と『銃後史ノート』」
加納実紀代さん
(銃後史ノート編集同人、女性史研究者)
「私にとっての『銃後史ノート』—
少年兵志願を止められる母にならなかった」
むらき数子さん
(銃後史ノート編集同人、ミニコミ『むら
き数子情報ファイル』発行者)
「銃後からフロントへ—女性活躍時
代の自衛隊」
佐藤文香さん
(ジェンダー研究者、一橋大教授)

トーク：
川上未映子さん
(作家)
小林エリカさん
(作家、漫画家)
福田和香子さん
(元 SEALDs)

コーディネーター：
上野千鶴子さん
(WAN 理事長)

2017年11月11日(土) 13:30~17:00 (開場 13:00)
上智大学 2号館 4 階 401号室
JR 中央線・東京外口駅/内線・南北線/四ツ谷駅 麹町口・赤坂口から徒歩 5 分
http://www.sophia.ac.jp/en/info/access/map/map_yotsuya
参加費(資料代):1000円(WAN 会員500円)
定員:200名(定員になり次第終了。定員に満たない場合、当日参加可)
申込方法:電子メール uenoseminar@wan.or.jp にて受付
(タイトルを「銃後史ノートに参加希望」とし本文に氏名・連絡先・WAN 会員の有無明記のこと)
*ブックトークで取り上げる『銃後史ノート』の論文 6 点をウェブよりダウンロード出来ます。
詳しくは [WES](https://www.wan.or.jp/calendar) WAN イベント情報 <https://www.wan.or.jp/calendar> または上野研究室をご覧ください。
主催:認定 NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク / 共催:上智大学史料研

認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク Women's Action Network

TOPICS ACTION RESEARCH CULTURE INFORMATION CORNER

人気の検索 ブログ 嫁 文集 上野千鶴子

緊急の呼びかけ： 緊急署名：「たくさん産んで国家に貢献」発言撤回の要請を

PICK UP
【回答】大阪W選挙候補者への公開質問状
大阪府市首長選の候補者に男女共同参画政策について公開質問状を出しました。各候補者の回答はコチラをご覧ください。今週日曜は投票日です。是非この回

PICK UP
WANリニューアルサイト取説：イベントカレンダー編
リニューアルにあたり、イベント情報ページも刷新しました。直近1週間分が表示されています。開催地域によって色分けがされていることにお気づきで

シネマ
対談 一人の女性の“国家との闘い”を描いた映画 — 『黄金のアデーレ 名画の帰還』をめぐって 川口恵子 x 仁生 碧
2015.12.01 Tue
▶主人公マリアの魅力的なキャラクターとライフスタイル仁生：こんにちは。「シネマラウンジ」で映画紹介を書いている仁生碧です。今日は、11月27日公開の映画、『黄金のアデーレ 名画の帰還』について、映画評論家 続きを見る
カテゴリー：特集・シリーズ / 映画を語る

認定NPO法人 WANについて
ウィメンズアクションネットワーク

認定NPO法人 WAN 会員募集中

× Fund
WAN 基金

日本のフェミニズムの財産目録



新編 FEMINISM IN JAPAN 日本の フェミニズム

全12巻

【編集委員】
天野正子・伊藤公雄・伊藤るり・井上輝子
上野千鶴子・江原由美子・大沢真理・加納実紀代
【編集協力】
斎藤美奈子

生きかたを変える言葉, 社会を動かす実践,
〈女〉からつむぐ思想

岩波書店

岩波女性学事典2002

井上輝子・上野千鶴子・江原由美子・
大沢真理・加納実紀代編集



「男女共同参画」はゴールかツールか？

- 過少代表性の是正
- QUOTA制の導入
- 女なら誰でもいいのか？
- 女を増やしてどうしたいのか？

東北大学男女共同参画推進センター

男女共同参画は
学問を変えるか？

公開シンポジウム
2014.05.31(土)
10:00 - 18:00
※ 日本学術会議講堂
(入場無料・事前申し込み不要・先着順)

【プログラム】

◆司会：後藤弘子（日本学術会議第一分科員、千葉大学大学院専門法政研究科教授）・太沢真理（日本学術会議第三分科員、東京大学社会科学研究所教授）

◆報告1「男女共同参画とジェンダー研究の近づくて遠い関係」上野千鶴子（日本学術会議第一分科員、東京大学名誉教授）

◆報告2「学術分野における男女共同参画のこれまでの取り組み状況」小堀香穂子（日本学術会議第三分科員、日本女子大学名誉教授）

◆報告3「学術分野における男女共同参画の現状—大学の調査結果から」有原隆弘（日本学術会議第三分科員、東北大学准教授）

◆報告4「学術分野における男女共同参画の現状—学協会調査結果から」新井民夫（日本学術会議第三分科員、芝浦工業大学教育イノベーションセンター教授）・島置子（京都大学東洋学・言語学・文化学専攻教授）

◆報告5「学術分野における男女共同参画の現状とその評価」江原由美子（日本学術会議第一分科員、京都大学文学部人文科学科教授）

◆報告6「男女共同参画は社会科学を変えるか？」岡野八代（同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授）

◆報告7「男女共同参画は人文科学を変えるか？」和泉ちえ（千葉大学大学院人文科学科教授）

◆報告8「男女共同参画は生命科学を変えるか？」横井真理子（日本学術会議第二分科員、国際医療福祉大学副学長）

◆報告9「男女共同参画は理工学を変えるか？」中西準子（独立行政法人産業技術総合研究所FLO-1）

◆討論：加藤万里子（産業能率大学理工学部教授）・貴堂嘉之（一橋大学大学院社会学研究科教授）・藤根裕子（日本学術会議第三分科員、東京大学大学院総合文化研究科教授）

◆司会挨拶：太沢と「男女共同参画は学問に何をもたらすのか？」辻村みよ子（日本学術会議第一分科員、明治大学法科大学院教授）

主催：日本学術会議社会科学分科会・研究分科会、総合領域ジェンダー分科会、史学委員会歴史学とジェンダー分科会、法学委員会ジェンダー分科会、科学委員会男女共同参画分科会

後援：日本女性学連、日本フェミニズム経済学連、国際ジェンダー学会、ジェンダー学会、ジェンダー研究連、日本ジェンダー学会、人文社会科学高等学術研究協議会、独立行政法人産業技術総合研究所、日本学術会議ジェンダー研究センター、奈良女子大学ジェンダー文化学研究中心、明治大学法科大学院ジェンダーセンター、明治大学情報コミュニケーション学系ジェンダーセンター、一橋大学大学院社会学研究科ジェンダー学会、独立行政法人産業技術総合研究所、京都大学女性学センター、京都大学女性学センター、京都大学女性学センター、立教大学ジェンダー研究センター、立教大学ジェンダー研究センター、立教大学ジェンダー研究センター

「男女共同参画」とジェンダー研究の相性の悪さ

- 女性の参加
- 女性のリーダーシップに反対する者は今や誰もいない
- BUT誰のための、何のための参加なのか？

女性の過小代表性の是正？ under-representation

- 90年代-「男女共同参画」=国策フェミニズム
- 「202030」=政府の数値目標
- 安倍政権の「女性の活用」？
- Quota制
- Positive Action

学問のジェンダー関与性

- WHO? entitlement 資格
- WHAT? agenda setting 主題・対象
- HOW? method and approach 方法
- FOR WHAT & WHOM? whose interest 目的

ジェンダーは学問を変えるか？

- アジェンダ・セッティング 何が学問の正統な主題か？
- エンタイトルメント(資格付与)誰が正統な担い手か？
- 対象 対象領域の拡大
- 方法 アプローチの違い
- 「客観・中立性」の神話の壁！

何のための男女共同参画か？

「男女共同参画」のゴール

- 1) 社会的公正fairness
- 2) 効率性efficiency
- 3) 社会変革feminism (社会的弱者への配慮)

解1) 社会的公正fairness

ジェンダー非関与？結果を問わない

差別是正そのものがゴール

社会的少数者の市民的平等

機会均等

能力主義professionalismとの親和性が高い (Liberal feminism)

応用問題：女性の軍隊参加

- Q女性兵士の参加は軍隊を変えるか？
- YES→セクハラのない紳士的な軍隊？
- NO→女性の軍隊化？
- 「女性は殺せるか？イエス。女性を殺しのために訓練できるか？イエス。女性は男性と同じくらい効率的に殺せるか？イエス。我々は女性を前線部隊に迎え入れる準備があるか？イエス。」Rayner, New York Times Magazine [1997]
- 歴史的教訓=軍隊の女性化よりも女性の軍隊化のほうが早く進化した！

解2) 効率性efficiency

エスピン=アンデルセン『未完の革命』

人的資本の活用／効率性の向上／企業の経常利益率が高い(川口章)／組織内コミュニケーションの円滑化(野依良治)

→「男女共同参画」は効率性達成の手段(ネオリベリズムと親和性高し)

Diversityの促進

解3) 社会変革feminism

代表性の是正は手段であって目的ではない！

社会は変化すべきだし、変化してほしい

BUTいかなる方向へ？

どんな社会がほしいのか？

- フェミニズム=弱者が弱者のままで尊重される社会を
- 生産の論理、効率の論理ではなく再生産の論理、分配の論理を

ポスト構造主義のジェンダー概念(定義)

- 1) 社会的かつ恣意的な性別間の差異
- 2) 差異化された2つの項から差異化そのものへ、分割それ自身への移行
- 3) 序列、階層を含む権力関係の用語 (Delphy 1989)
- 「ジェンダーの枠組みの中に男性を位置づけるなら、男性とはまずなによりも支配する者である。男性に似るということは支配する者になるということである。しかし、支配者になるためには、支配されるものが必要になってくる。...全員が支配者である社会は考えられない」

理論的帰結:「男になりたい」わけじゃない

- フェミニズムへの誤解→「男並みになりたい」バカな女たち？
- 「項の入れ替え」による平等化戦略は無効
- 1) 女が男に似る＝支配者(差別者)になる→不可能であるばかりか無意味
- 2) 項を入れ替える(専業主婦がイヤなら、専業主夫をゲットすればいい？／男の買春が不愉快なら、女もリゾラバをつくれればいい？)→権力関係を維持したまま項を入れ替えても、差別や抑圧はなくなる

非暴力は学べる

- 暴力＝問答無用の権力行使／もっともむき出しの野蛮な権力
- 性暴力＝ジェンダー権力の実践
- 岡野八代「フェミニズムの政治学」
- 安全保障security：語源se-curo=ケア（配慮）のいない状態
- ケアのある状態=圧倒的に非対称的な権力関係のもとで、ケアを与える者は、自分の手にある生殺与奪の権力を行使することを抑制してきた。

「よくもこの子を殺さずに育て上げたものよ」=女の感慨

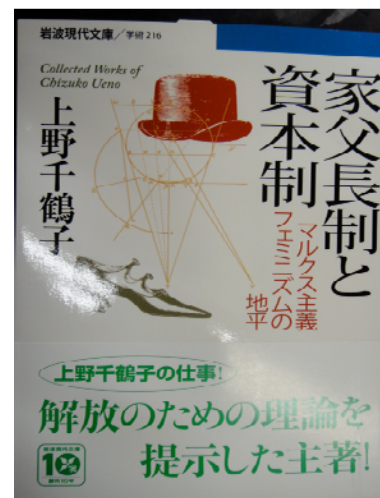
ケア＝非暴力を学ぶ実践

これからの日本 超高齢社会／人口減少社会

- 「依存的で無力な自己」を受けいれる
- 他者からの援助を受けいれる
- 「助けて」と言えるわたし
- 「助けてくれる」人々の存在
- 「相互依存が恥ではなく、誇りであるような社会・・・」上野1991『家父長制と資本制』



岩波書店、1990年



岩波現代文庫、2009年

『家父長制と資本制』[上野1990]

最後に、ありとあらゆる変数を問わず、労働の編成に内在する格差の問題が残る—それは、なぜ人間の生命を産み育て、その死をみとるという労働(再生産労働)が、その他のすべての労働の下位におかれるのか、という根源的な問題である。この問いが解かれるまでは、フェミニズムの課題は永遠に残るだろう。

[上野1990:308-9;上野2008:389]

認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク Women's Action Network

 女性と女性の活動をつなぐポータルサイト

[ログイン](#) [login](#)

[トピックス](#) [アクション](#) [リサーチ](#) [カルチャー](#) [インフォメーション](#) [コーナー](#)

[人気の検索](#) [ブログ](#) [本](#) [文集](#) [上野千鶴子](#)

[クリップリスト](#) [コメント記事リスト](#)

[NPO入会申込み](#) [サイトユーザー登録](#)

緊急の呼びかけ： [緊急署名：「たくさん読んで国策に貢献」 発言撤回の要請を](#)



PICK UP
【回答】大阪W選挙候補者への公開質問状
大阪府市議員選の候補者に男女共同参画政策について公開質問状を出しました。各候補者の回答はコピラをダウンロードください。今週日曜は投票日です。是非この回



PICK UP
WANリニューアルサイト取組：イベントカレンダー編
リニューアルにあたり、イベント情報ページも刷新しました。直近1週間分が表示されています。開業地域によって色分けがされていることにお気づきで



シネマ
対談 一人の女性の「国家との闘い」を描いた映画 ―『黄金のアデーレ 名画の帰還』をめぐって 仁生 著
川口恵子 x 仁生 著
2015.12.01 Tue
▶主人公マリアの魅力的なキャラクターとライフスタイルに惹かれました。『シネマラウンジ』で映画紹介を書いている仁生著です。今日は、11月27日公開の映画、『黄金のアデーレ 名画の帰還』について、映画評論家
続きを読む
カテゴリ：特集・シリーズ / 映画を見る

 認定NPO法人
WANについて
ウィメンズアクションネットワーク

 認定NPO法人WAN
会員募集中

 Fund
WAN基金

 WANに
寄付する